

「令和6年度 市民提案型事業」 事業報告会

忘れない 平成30年7月豪雨

～ 災害支援の取り組み

を通して高める防災意識 ～



公益財団法人みんなでつくる財団おかやま

目次

1. 事業概要

2. 事業内容・成果

3. 今後の取り組み

1. 事業概要

1. 事業概要

②目指すべき社会・状態【事業の目的】

- ・平成30年7月豪雨の**経験・ノウハウが共有され、**非常時に**様々な資源を活用できる体制・仕組みづくり、**（すぐに関係機関（官民）と連携をとれる**支援体制構築**など）
- ・全国各地の復旧・復興活動や防災対策に活かされている状態

④事業実施により期待される成果

- ・災害時に**必要な支援や機能について、ノウハウが記録される**
- ・関係者とのつながりが拡充される

⑤事業実施後のビジョン

- ・関係団体との連携強化、非常時に対応できる体制整備
- ・市との連携の可能性検討
- ・他地域へのノウハウ移転

③今回の実施事業

『平成30年7月豪雨災害における支援活動 報告書の作成』

①事業の実施背景、地域課題【現状の認識と課題】

- ・被災経験を活かした備え（非常時の支援体制整備）が急務であるが、当時の民間団体による**支援ノウハウが残せていない。**
- ・発災から5年以上が経過し、風化や防災意識の低下が懸念される。

1. 事業概要

■ ももたろう基金

岡山県内における平成30年7月豪雨「被災地支援寄付基金」を設置

(2021年12月15日～2022年2月15日に第14次募集受付終了)



1年間でもっとも共感を
あつめた取組みとして
選んでいただきました！



FRJ2019
第10回
「日本ファンドレイジング大賞」
を受賞しました！

2. 事業内容・成果

2. 事業内容・成果

■ 主な取り組み内容

【 記録に残す 】

- ① 平成30年7月豪雨における
災害支援活動報告書の作成

【 啓発活動 】

- ② **防災イベント**の企画
- ③ **シンポジウム**の開催

① 活動報告書の作成

目的

「ももたろう基金」の取り組みを中心に、
運営ノウハウやそれぞれの民間団体の支援活動の記録を残す



< 目次 >

はじめに

平成30年7月豪雨の概要

ももたろう基金の歩み

ももたろう基金助成の仕組み

スタッフの働き方

助成先団体インタビュー

災害支援基金チェックリスト

② 防災イベント

「令和6年能登半島地震」から学ぶ災害支援

日時：2024年6月2日(日)
10:00~11:30

場所：FLCB + オンライン

内容：

- ・ももたろう基金の取り組み紹介
- ・講師による講演
- ・質疑応答、意見交換

参加者：20名

災害支援講演会

参加無料

「令和6年能登半島地震」から学ぶ災害支援

開催概要

- 日時：2024年6月2日(日) 10:00~11:30
- 会場：FLCB (石川県中能登町2-20) オンライン (Zoom)
- 内容：ももたろう基金の取り組み紹介、講師による講演(活劇の解説)、質疑応答、意見交換
- 講師：田中 浩一 (ももたろう基金 代表理事)

講師：田中 浩一

災害支援 ネットワーク 石川分会

公財財団法人 ももたろう基金 災害支援基金

主催：公財財団法人 みんなでつくる財団おかやま

〒730-0152 石川県石川郡能登町2-20 FLCB

TEL: 0764-31-5530

申込先: 財団おかやま

HP: www.okayama.or.jp



② 防災イベント

「令和6年能登半島地震」から学ぶ災害支援

【講師①】 災害支援ネットワークおかやま

詩叶 純子氏

平成30年7月豪雨での支援活動を契機に
立ち上がった民間による災害支援のネットワーク。



NPO・NGO、企業、専門家など様々な組織が立場を超えて、被災者支援に取り組むための連携・協働の取組や支援に取り組む民間組織をサポートすることで、被災時に誰ひとり取り残さない支援の実現を目指している。令和6年能登半島地震においても現地で支援活動に取り組んでいる。

団体HP ▶ <https://saigainetokayama.org/>

② 防災イベント

「令和6年能登半島地震」から学ぶ災害支援

【講師②】 公益財団法人 ほくりくみらい基金

須田 麻佑子氏、永井三岐子氏（理事長）

「未来はつくれる！」と誰もが思える社会の実現を目指し、石川県内で活動を行うコミュニティ財団。

2023年4月に設立、同年12月に公益認定。



令和6年能登半島地震発災後、「令和6年能登半島地震 災害支援基金」を立ち上げ、寄付集めと現地の活動団体への助成を行う。

これまでに集まった寄付金は52,943,295円（2024年5月15日9時時点）。緊急助成プログラムを第4次まで公募し、計59団体・総額1,018万円の助成を実施している。〔6月2日イベント時点〕

団体HP ▶ <https://hokuriku-mf.jp/>

② 防災イベント（自主企画）

総社市 危機管理室 出前講座

日 時：2024年11月19日（火）
10:00～11:30

場 所：FLCB

内 容：

- 身近な防災の取り組み紹介
- 総社市の取り組み、防災に関する展示物紹介
- 質疑応答、意見交換

講 師：総社市 危機管理室 ご担当者様

参加者：5名



② 防災イベント（自主企画）

親子のための防災を考えよう！

日 時：2024年11月28日（木）
14:00～15:30

場 所：FLCB + オンライン

内 容：

- ・ 助成事業（親子防災手帖作成等）活動報告
- ・ 質疑応答、意見交換・情報交換

発表者：NPO法人 こもれびroom 代表理事 岸 氏

参加者：7名



② 防災イベント（自主企画）

親子向け防災展示

内 容：防災に関する展示、クイズ企画
（特に小学生の親子を対象）

【 清音防災キャンプ 】

日 時：2024年12月14日（土）
19:00～21:00

場 所：きよね夢てらす



【 寄付月間祭り 】

日 時：2024年12月15日（日）
10:00～15:00

場 所：FLCB



② 防災イベント（自主企画）

報告書を読む会

日 時：2025年3月12日（水）
12:00～13:00

場 所：オンライン

内 容：

- 「ももたろう基金 報告書」をもとに、当時の様子や思い、活動のノウハウなどの紹介
- 質疑応答

講 師：（公財）みんなでつくる財団おかやま 理事 石田 篤史

参加者：5名



③ シンポジウム

日時：2025年1月26日(日)
14:00~16:00

場所：FLCB + オンライン

内容：

- ・ももたろう基金 取り組み紹介
- ・活動報告書 紹介
- ・ももたろう基金 助成団体
パネルディスカッション
- ・今後の災害対応について

参加者：33名



3. 今後の取り組み

3. 今後の取り組み

- 各関係機関・団体、OBOGネットワーク
等との連携体制強化・拡充
- 活動報告書を読む会
- 団体発掘・育成

3. 今後の取り組み

■ 被災地支援・防災活動等を対象とした助成事業

「BRIDGE SETOUCHI 基金」

: 災害支援や防災の助成事業に役立ててもらうことで、購入者にも社会的関心を持ってもらうきっかけをつくることを目的とした基金。

SAIGAI SHIEN KIKIN **みんなく
災害支援基金**



「みんなく災害支援基金」

: 日本国内（岡山県内を基本）で災害や災害相当の緊急事象がおきた際に、NPO活動を支援する災害支援基金。

「にいみ復興基金」

: 令和元年9月豪雨災害により被害を受けた新見の復興活動・地域活性化活動に対する支援基金。



**NIIMI
FUKKO
KIKIN**

にいみ復興基金



ご清聴

ありがとうございました！

